
繋いだ手

Sachi

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

繋いだ手

【Nコード】

N2835B

【作者名】

Sachi

【あらすじ】

あなたと繋いだ手はまたわたしと繋いでくれますか？

（前書き）

手を握るって
幸せですよね。

今日は2週間ぶりのデートだった

あなたに愛してもらいたくて
なれない化粧と

似合わないスカートをはいた

約束の時間になってもこなくて
電話した

『今からいくよ』

もうすぐあなたが来る
あなたが来てくれる

胸が踊った

あなたの姿が見えたとき
わざと知らないふりして携帯を触った。

『おまたせ』

それだけ言って歩き始めた

今日は寒い日だった

『今日で最後なんだよ』

突然告げられた

最後？いつもの冗談だっと思った

『最後やで笑ってよ』

わからなかった

自然と繋いだ手が

温かった

ずっと繋いだ

公園のベンチに二人で座って

あなたから飛び出す言葉

聞きたくなかった

『今までありがとう』

繋いだ手も

あなたへの想いも

離れていった

手袋が必要だね

それから2ヶ月がたった

私は今も変わらずあなたが好き

好きな気持ちを消すために

あなたの悪口を
いっぱい言った

これでもかってくらい言った

季節は春に近づいて
手袋はいらなくなった

あれから
私の隣には誰もいない
あなたがもう一度握ってくれる

心のどこかで願っていた

私の何がダメだったのかな

それを直したら

戻ってきてくれるのかな

答えが見つからない

好きをなくしたかった

廊下であうたびあなたの前では

大声で笑った

あなたがいなくても私は幸せなんだからって
言いたかったのかな？

見るだけで

嬉しくなっちゃうなんて・・・
彼女じゃないのにダメかな？

あなたがもう一度

戻ってきてくれるために

わたしは今日も

ハンドクリーム塗って

まってるよ

もう一度つないでください

（後書き）

これ私の体験なんですよね

この後。戻ったんですよ

でも半年付き合ってまた振られました
機会があつたらそちらも書きたいです。

読んでいただきありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2835b/>

繋いだ手

2011年2月3日15時59分発行